

## 第9回 国際科学技術関係大臣会合の結果について

平成24年10月7日

内閣府政策統括官（科学技術政策・イノベーション担当）

国際担当

1. 日 時： 平成24年10月7日（日）16：15～18：30
2. 場 所： 国立京都国際会館 Room A
3. 参加者： 世界20ヶ国の科学技術大臣等が参加
4. テーマ： 「グリーン成長と包括性 科学技術イノベーションにおける国際協働の役割」
5. 結果概要：

前原科学技術政策担当大臣が議長を務め、「グリーン成長に資する知識共有を含めたより効果的な国際科学技術イノベーション協力や国際研究協力とは何か」について、意見交換を行った。

  - (1) 冒頭の挨拶において、前原大臣より、東日本大震災の経験とそこから得られる教訓を生かし、更なる成長力を強化していくため、重要な戦略として7月に「日本再生戦略」を策定した旨紹介され、本会合においては、
    - ・参加各国におけるグリーンエネルギーに関する科学技術政策・取組み
    - ・「持続可能な開発」の実現に向け、「グリーン成長」に資する知識共有を含めた国際科学技術イノベーション協力や国際研究協力をいかに効率的に進めていくべきかについて情報交換・意見交換を行いたい旨述べられた。
  - (2) 次に、倉持内閣府政策統括官(科学技術政策・イノベーション担当)より、「日本再生戦略」や「第4期基本計画」における科学技術イノベーションの位置付け、グリーン成長に資する科学技術イノベーションの実現や課題達成に向けた日本の取組みについて説明があった。
  - (3) その後、各国からの経験の紹介、意見交換が行われ、科学技術イノベーションを通じてグリーン成長を実現するため、以下のような点が重要であることを参加各国間で認識共有し、相互に理解を深めた。

環境に配慮した代替エネルギー、環境負荷低減性に優れた再生可能エネルギーの導入、拡大の実効性を確保する取組みが進められること

エネルギー資源の確保やそのバランスの諸問題に加え、世界人口の急激な増加に伴う食糧や水などの農業や健康・保健衛生などの社会的な課題も一体的に捉え、その解決に向けて、各国が協力、協働して取り組むこと

社会的、文化的な多様性、教育のレベルに配慮しつつ、各国それぞれの事情に応じて、先進国等が有する科学技術と、その成果、経験、知識などの様々な研究開発資源が適切に共有、交流されること

以上の取組みの継続性を確保するためにも、人材や関係機関の能力・機能の強化・向上が合わせて進められること

(4) 最後に前原大臣から、参加各国に対し謝辞を述べられるとともに、今後も各国でグリーン成長に関する様々な協力が推進されることを祈念する旨述べられ会合を終了した。

以上